

(様式2)

学校関係者評価報告書

(上浮穴高等学校)

学校番号(27)

評価実施日	令和3年3月2日(火)		
委員	氏名	所属等	備考
	古田 邦博	久万高原町商工会(会長)	
	白川 真理	久万こども園(園長)	
	辻本 元一	久万高原町教員委員会(事務局長)	
	伊藤 孝平	三愛スポーツ(代表)	
	渡部 定明	久万高原町立病院(事務局長)	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の評価</p> <p>(1) 学生寮について</p> <ul style="list-style-type: none">・町内、県外からの学生を受け入れる魅力的な寮の運営など、すばらしい取組だった。 <p>(2) 生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none">・ここ数年高校の生徒指導が行き届いている。夕方生徒とすれ違っても、面識のない生徒でも気持ちの良い挨拶してくれる。 <p>(3) 地元の進学率について</p> <ul style="list-style-type: none">・地元からの進学率が徐々に下がっていることが気になる。 <p>2 学校運営への提言</p> <p>(1) 地域との繋がり</p> <ul style="list-style-type: none">・久万高原町の教育委員会では幼・小・中・高「上浮穴15年教育」を目指している。「総合的に探究の時間」を利用して校種間の連携を密に行い、上手く繋ぐ体制づくりをしてほしい。 <p>(2) 学生寮について</p> <ul style="list-style-type: none">・初年度1年間を終えようとしており、課題や問題点も見えてきたので、今後も話し合いを重ねていきたい。 <p>(3) キャリア教育について</p> <ul style="list-style-type: none">・若者たちが「自立」できる基礎をしっかりと身に付けるために、アルバイトや有償ボランティア等が効果的であると思。 <p>(4) 資格取得</p> <ul style="list-style-type: none">・森林環境科の研究内容をはじめ、取得できる資格等についてのアピールをもっとするべきである。	<p>・寮則づくりから始まり、様々な課題があったが、毎月の寮務課会や町との連絡会などで話し合いを重ねてきて、町や学校両方が納得のいく寮経営ができつつある。</p> <p>・地域での幼少期からのしつけが行き届いており、横断歩道を渡った後のお辞儀など地域ならではの行動が自然に引き継がれているので有難い。</p> <p>・地元の児童・生徒数の減少も著しいが、地元から信頼される学校づくりをすることが大切であると思うので、今後も国公立の進学や就職など、目に見える形での成果を出していきたい。</p> <p>・今年度より、「総合」の時間に地域の様々な職業の方々を招いて講話をしていただいております。キャリア教育と地域理解に大きく貢献できているので、次年度からも継続したい。</p> <p>・教職員の負担や教育委員会、寮母の負担などを考慮しながら、今後の寮生の自治的な運営など、持続可能な寮について改善を図りたい。</p> <p>・地域からの要望もあるので、長期休暇中を手始めに、アルバイトが可能になるよう規則の改訂を行いたい。</p> <p>・ホームページ等を通じて、森林環境科の研究内容は資格取得についての情報を、これまで以上に掲載しアピールしていきたい。</p>